

社会に出て実際に仕事してみると、就職活動では漠然としていたことが見えてくるものです。企業の一員として働くとはどういうことなのでしょう？大学時代の学びが役立っていることは何でしょうか？社会人の先輩たちにインタビューしました。

# て ものとは!?

株式会社 帝国データバンク  
大宮支店 営業部

2012年 外国語学部英語学科卒

## Q 今の仕事の内容とこの仕事を選んだ動機を教えてください。

当社は取引をする相手が倒産しないか、問題の無い会社かを知るための調査を主に行っております。昨年までは調査部という部署で中小企業の経営者に直接お会いしてインタビューし、その会社の情報をまとめる仕事をしていました。もともと調べるのが好きなので、やりがいを感じていました。

今年から営業部に異動になり、調査部が調査した情報を官公庁、銀行、大手企業などに利用していただく仕事を担当しています。いろいろな業界の方と会ってレベルの高い話をする事が多く、仕事をしながら自分がどんどん成長している実感があります。

実は、今の会社は2社目です。最初の会社ではまったく違う業界で営業企画とサービスの仕事をしていましたが、もう少し規模の大きいところで仕事してみたいと思って転職しました。

どこの会社でも組織の目的や仕事の苦労はあまり変わらないと思ったので、業種にこだわらず、受け入れていただける会社に入ったというのが正直なところではあります。私は大学の専攻を選ぶ

際も、苦手な英語を克服するためにあえて英語学科に進みました。チャレンジで自分を変えようというか、縁のあった会社で自分の新たな能力を引き出したいというのが動機といえるかもしれません。

## Q 社会人になったばかりの頃と、今と違うところはありますか？

分からないことや、経験のないことへの対処がうまくできるようになったと実感しています。当初はまわりに聞く、自分で調べる、話し合いの中でアイデアを見いだす、などの方法で対処していました。次第に、それらのプロセスを見直した時に、自分も周囲の人もステップごとに納得していたか、後から振り返っても納得しうるものか、と検証していくことを大事にしなければいけなくなると分かるようになりました。それが、新人の頃と大きく違うところではあります。

## Q 就職活動をする獨大生にアドバイスを。

できるだけ知見の幅を広げることで人間的におもしろみが出ると思います。

自分で「この業界がいい」と決めてそこだけを調べるのも一つの方法ではありますが、私のように特定の業界や業種に縛られずにいろいろな会社にあたっていくのも良いのではないのでしょうか。

帝国データバンクに勤めてたくさんの会社を訪問したからこそ言えますが、日本にはよい企業がたくさんあるので、自分から選択肢を狭めてしまうのは残念な気がします。

「制服に体を合わせる」という言い方があるように、入った会社で与えられた仕事に自分を合わせていくことで、自分の能力を新しく引き出すことができるということもあります。

## 【社会に出て役立った! 学生時代の経験】

ゼミで読んだ本や、ものごとの考え方の習得。私はゼミ長で、先生と一緒にいろいろ考える機会が多かったのも良い経験になりました。アルバイトで出会った他の大学の人脈や、お酒の飲み方なども社会に出て役に立ちました。

Interview

# OB・OGに聞きました! 社会人になっ 見えてくる

佐川グローバルロジスティクス株式会社  
ロジスティクス営業部 企画課

2016年法学部国際関係法学科卒

## Q 就職先はどうやって絞り込み、今の仕事に決めた動機は何でしたか?

大学で国と国のやりとりを学ぶ中で、社会の基盤に関わる仕事に興味を持ちました。そこで、石油、鉄、物流に志望を絞っていった中、今の会社は経済活動の動脈である物流業界のトップ企業であり、海外進出をさらに図っていくところに伸びしろを感じました。自分がそこに关わるチャンスに賭けてみたいと思ったのが入社した動機です。

## Q 今の仕事の内容は? 社会人になってどんな気づきがありますか?

営業部門が獲得した案件を、全国の倉庫の中で具現化する設計の仕事をしています。倉庫のレイアウトをつくったり、データ分析をしています。オーダーメイド物流なので、たとえば同じパレ

ル業界のお客様でも、店舗に出す場合と、ECサイトで個人宅向けに出す場合では倉庫の運用はまったく異なります。

この会社に入って想像以上だったのは、大きな組織ですが私がやってみると提案したことは、しっかりとした根拠があれば採用されることです。

プレッシャーに感じるのは、すべての行動に成果を求められること。学生時代は自分のやりたいことを自分の意思だけでできましたが、社会人になってからはチームで成果をあげていく必要が生じました。自分だけでやろうとしてはダメだということ、現場で実感しました。

## Q 「海外を目指す」というキャリアパスは進められていますか?

学生時代に途上国の開発の勉強をしていたので、途上国に関わりたいたいと考えています。当社は東南アジアに進出

しているので、そういう国々の拠点の立ち上げスタッフを目指しています。入社1年目の終わりに、ASEANの物流の人材育成を行う国交省のプロジェクトに参加する社内公募があり、ラオスに2週間行くことができたことはとても有意義な経験になりました。

## Q 就職活動をする獨大生にアドバイスを。

「自分はこれをやりたい」という軸がある人は、社会に出て嫌なことがあっても潰されない強さがあると思います。

やりたいことがわからない人もいるでしょう。そういう場合は、いずれ自分が社会に出た時にどうなっていたらいいな、将来の自分を考えた時に足りないものは何かと考えて、そこに向かって自分を変える欲求を持つことが大切です。私は大学に入った時に自分に自信が持てなかったのですが、世界に出るといふ夢のためには自分をアピールできるようにならなくてはと一念発起しました。目標達成に近づける授業やゼミを選択したり、日米協会でインターンに参加することで自分が成長できました。

### 【社会に出て役立った! 学生時代の経験】

私は2つのゼミに所属していたのですが、ゼミで行っていた模擬国連は、相手の気持ちを害することなく自分の意見を伝えるトレーニングになりました。また、プレゼンテーションスキルやパブリックスピーキングを学び、人前で話すことが得意になりました。

特集 OB・OGに聞きました! 「社会人になって見えてくるものとは!」